

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 木徳神糧

コード番号 2700

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平山 惇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門財務部長

(氏名) 稲垣 英樹

TEL 03-5636-1501

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	26,629	△2.8	302	△18.0	264	△31.2	164	△30.9
21年12月期第1四半期	27,400	—	369	—	385	—	237	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	19.35	—
21年12月期第1四半期	28.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	25,357	5,415	19.6	587.13
21年12月期	29,102	5,252	16.5	567.19

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 4,978百万円 21年12月期 4,809百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	2.00	—	3.00	5.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	2.00	—	3.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	55,135	3.9	505	△5.6	380	△27.2	200	△34.9	23.58
通期	107,320	2.8	1,040	△0.3	800	△15.0	450	△22.3	53.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	8,530,000株	21年12月期	8,530,000株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	50,029株	21年12月期	50,029株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	8,479,971株	21年12月期第1四半期	8,480,718株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、新興国向けの輸出の持ち直しや景気対策の効果により回復の兆しが見られるものの、先行きの不透明感から依然として厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、雇用・所得への不安等により個人消費が依然低迷しており、価格競争が消費喚起のために多用される等、取巻く環境は大変厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、既存取引の基盤強化、新規取引先開拓の推進、付加価値商品の開発体制の強化を図る一方で、製造効率の向上、製販連動の在庫管理の改善、販売・管理コストの削減に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は売上高26,629百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益302百万円（同18.0%減）、経常利益264百万円（同31.2%減）、当四半期純利益164百万円（同30.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は25,357百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,745百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の増加額70百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少額974百万円、たな卸資産の減少額928百万円、前渡金の減少額1,807百万円、有形固定資産の減少額72百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が19,941百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,909百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少額1,898百万円、短期借入金の減少額305百万円、未払法人税等の減少額296百万円、流動負債のその他の減少額1,269百万円、社債の減少額158百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が5,415百万円となり、前連結会計年度末と比べ163百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加額138百万円等があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、当初計画どおりに推移しており、平成22年2月18日に公表しました第2四半期連結結果計期間及び通期の業績の予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて簿価切下げを行う方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められているため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,107,335	2,072,879
受取手形及び売掛金	8,400,286	9,375,149
商品及び製品	3,735,602	4,060,477
仕掛品	440,433	491,564
原材料及び貯蔵品	1,394,096	1,946,749
前渡金	322,269	2,130,146
未収入金	98,869	104,413
繰延税金資産	135,942	157,446
その他	217,415	245,770
貸倒引当金	△6,059	△7,545
流動資産合計	16,846,193	20,577,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,642,724	2,692,226
機械装置及び運搬具(純額)	1,132,227	1,132,127
土地	2,957,521	2,957,521
リース資産(純額)	23,937	25,081
その他(純額)	50,688	73,020
有形固定資産合計	6,807,100	6,879,978
無形固定資産		
ソフトウェア	31,758	30,243
その他	43,947	44,304
無形固定資産合計	75,705	74,547
投資その他の資産		
投資有価証券	979,668	909,522
長期貸付金	7,507	7,606
長期前払費用	14,121	17,724
繰延税金資産	5,426	4,644
その他	710,839	734,643
貸倒引当金	△89,160	△102,877
投資その他の資産合計	1,628,403	1,571,263
固定資産合計	8,511,209	8,525,789
資産合計	25,357,402	29,102,843

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,670,591	4,568,840
短期借入金	11,116,776	11,422,657
1年内償還予定の社債	874,200	874,200
1年内返済予定の長期借入金	1,103,276	1,138,872
未払法人税等	79,227	375,235
繰延税金負債	—	632
賞与引当金	221,721	142,809
役員賞与引当金	—	1,400
リース債務	4,576	4,576
その他	1,320,975	2,590,824
流動負債合計	17,391,344	21,120,049
固定負債		
社債	575,500	733,600
長期借入金	1,364,109	1,404,073
繰延税金負債	487,603	464,435
退職給付引当金	31,688	30,625
リース債務	19,360	20,505
負ののれん	937	2,174
その他	70,859	75,090
固定負債合計	2,550,059	2,730,503
負債合計	19,941,403	23,850,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,500	331,500
利益剰余金	4,168,540	4,029,927
自己株式	△18,862	△18,862
株主資本合計	5,010,677	4,872,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△991	△39,340
繰延ヘッジ損益	24,097	29,610
為替換算調整勘定	△54,934	△52,573
評価・換算差額等合計	△31,827	△62,304
少数株主持分	437,149	442,530
純資産合計	5,415,998	5,252,290
負債純資産合計	25,357,402	29,102,843

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	27,400,588	26,629,081
売上原価	25,630,053	24,929,092
売上総利益	1,770,535	1,699,989
販売費及び一般管理費	1,401,499	1,397,427
営業利益	369,036	302,562
営業外収益		
受取利息	1,049	270
受取配当金	203	378
不動産賃貸料	15,853	13,344
負ののれん償却額	6,918	1,236
デリバティブ評価益	19,647	4,160
為替差益	26,676	—
その他	19,156	13,952
営業外収益合計	89,506	33,342
営業外費用		
支払利息	66,022	62,317
不動産賃貸費用	3,610	3,749
為替差損	—	3,908
その他	3,802	1,051
営業外費用合計	73,434	71,026
経常利益	385,108	264,878
特別利益		
貸倒引当金戻入額	769	2,846
関係会社事業損失引当金戻入額	11,595	—
その他	1,590	339
特別利益合計	13,956	3,185
特別損失		
固定資産売却損	109	2,498
固定資産除却損	1,714	105
貸倒引当金繰入額	11,309	—
その他	564	1,839
特別損失合計	13,698	4,443
税金等調整前四半期純利益	385,366	263,620
法人税、住民税及び事業税	146,206	76,047
法人税等調整額	△6,049	21,209
法人税等合計	140,156	97,257
少数株主利益	7,689	2,310
四半期純利益	237,520	164,052

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。